

平成 25 年 5 月 7 日現在

機関番号：15401  
 研究種目：基盤研究(C)  
 研究期間：2009 ～ 2012  
 課題番号：21530691  
 研究課題名（和文） 3 専門職種における生成継承性の心理的特質と発達過程に関する研究  
 研究課題名（英文） Psychological characteristics and developmental process on generativity in three professions.  
 研究代表者  
 岡本 祐子 (OKAMOTO YUKO)  
 広島大学・大学院教育学研究科・教授  
 研究者番号：90213991

研究成果の概要（和文）：

心理臨床家と陶器職人の専門家アイデンティティの生成と継承の心理的特質とプロセスを分析した。Erikson(1950)の精神分析的個体発達分化の図式に示された第Ⅰ～Ⅶ段階の心理社会的課題が、師弟両者とも専門的職業世界の中で再体験されていくプロセスが見出された。我が国の師弟関係の特徴として、長く師に同一化しつつ自らの独自性を育てていく母子関係を土台とした専門性の継承の特質が見出された。一方、アメリカの専門家養成における師弟関係は、上の世代をライバルと見なし、自主独立を是とする父子関係が土台となっていることが示唆された。

研究成果の概要（英文）：

The psychological characteristics and the achievement and succession process of professional identity of psychotherapists and ceramic artists were analyzed by individual semi-structured interviews. The psycho-social tasks in Epigenetic Scheme by Erikson(1950) were re-experienced in the achievement process of professional identity. It was suggested that the mother-child relationship was the basic traits in Japanese Master-Student relationship. On the other hand, father-son relationship was the basic traits in professional relationship in USA.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	800,000	240,000	1,040,000
2010年度	900,000	270,000	1,170,000
2011年度	800,000	240,000	1,040,000
2012年度	700,000	210,000	910,000
年度			
総計	3,200,000	960,000	4,160,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：心理学・教育心理学

キーワード：生涯発達, 世代継承性, 専門家アイデンティティ, 心理臨床家, 陶器職人

## 1. 研究開始当初の背景

Erikson(1950)がライフサイクル論・アイデンティティ論を提唱して以来、青年期のアイデンティティやライフサイクル全体を発達的にとらえようとする実証的研究は膨大な数に上っている(鏑・宮下・岡本, 1995-2002; 岡本, 1994, 1997, 2002)。しかし、成人中期の心理社会的課題である Generativity に直接、焦点化した実証的研究は、McAdams ら (1998, 2001, 2006) のナラティブの分析を中心とした研究の他はほとんど行われていない。

研究代表者はこれまで、青年期のアイデンティティ形成後の成人期におけるアイデンティティの発達・危機・変容について研究し、成人期の発達の危機に遭遇するごとに、アイデンティティは再体制化され、ラセン式に発達していくこと、特に40代の中年期は心身にさまざまな変化が見られる転換期であり、アイデンティティの構造的危機期であることを実証的に示した。さらに、成人期のアイデンティティ危機を発達の、臨床的視点からとらえ、子育て期の母親のアイデンティティ葛藤(岡本, 1999 他), 更年期女性の危機と援助(岡本, 2004), キャリア中期のアイデンティティ危機(岡本, 2005), 葛藤の深さから見た中年期危機の現れ方とその心理臨床的援助(岡本, 2007)などについて、実証的知見を得た。

成人期においてアイデンティティを土台として発現するのが Generativity(世代継承性)である。世代継承性は、人やもの、思想を生み出すこと、他者をケアし支えること、生み出したものを次世代へ継承することを意味するが、専門的キャリアの世界でそれがどのように行われていくのか、その具体的な心理的特質とプロセスは明らかにされていない。成人期において、アイデンティティと世代継承性は、「確立されたアイデンティティ」→他(者)への投企と積極的関与→関与した対象(者・もの)の成長・達成→アイデンティティの成熟→さらなる投企・積極的関与へ、というように相互循環的に働き、発達していくものと考えられる。本研究では、研究代表者のこれまでの研究によって明らかにされた成人期のアイデンティティ発達・変容の心理的特質とプロセスを土台にして、世代継承性の中身(その様態・心理的特質・生成の発達過程)について分析しようとするものである。

## 2. 研究の目的

本研究は、アイデンティティ達成とその世代継承が明確な形で見出されると予測される専門的職業における世代継承性の特質とプロセスを、師と弟子(上の世代・自世代・次世代)の関係性の次元で明確化することを目的とした。具体的には、職人、心理臨床家、企業における技術者の3つの高度専門的能力を必要とされる職業分野の人々を対象として、

- ① 対象者自身が、先代(師・上司など)からどのように専門性を受け継いできたのか。
- ② 自らそれをどのように発展させて、キャリアを確立してきたのか。
- ③ 形成・獲得した専門家アイデンティティを、どのように発揮し、次世代へ継承しようとしているのか。

の3点について、その具体的な内容や継承の方法(次世代の育成・教育の仕方)を分析することを目的とした。

## 3. 研究の方法

### 〈研究Ⅰ〉陶器職人の専門家アイデンティティの生成と継承

- (1) 対象者: 読谷壺屋焼陶工(常秀工房 陶主 島袋常秀氏とその門下生, 一門の陶工)
- (2) 方法: 個別の半構造化面接調査とフィールド調査。

### 〈研究Ⅱ〉心理臨床家の専門家アイデンティティの生成と継承

- (1) 対象者: 50代の臨床心理士 5名(日本人)  
Austen Riggs Center の心理臨床家 11名  
(アメリカ人)
- (2) 方法: 個別の半構造化面接。
- (3) 面接内容:
  - ① 心理臨床家としてのアイデンティティ形成プロセス
  - ② 心理臨床的ケア力をどのようにとらえ、どのように実践しているのか。
  - ③ ②を後進の臨床家に伝えていくためにどのような視点を持ち、工夫と実践を行っているか。

## 4. 研究成果

### 〈研究Ⅰ〉陶器職人における専門家アイデンティティの生成と継承

Erikson(1950)の精神分析的個体発達分化の図式の視点から、陶器職人の熟達のプロセスを実証的に検討した。沖縄県読谷壺屋焼の代表的な陶芸家である島袋常秀氏に対する個人面接から得られた語りを、①島袋常秀氏自身の陶器職人・陶芸家として専門家

アイデンティティを獲得してきたプロセスと、②師弟関係を通じた次世代への継承について分析した。工房への入門から独立までのプロセスにおいて、入門の主体性、作陶の全工程に責任をもつこと、師を「見て技を体得する」こと、美を感じ受けとめる力とそれを消化し作品として生み出す展開力など、7つの重要な課題が見出された。

Erikson(1950)の個体発達分化の図式におけるI~V段階の心理社会的テーマが、専門的職業の次元でも再度重要な意味をもつことが示された。

また、職人の Professional work の重要な課題である「職業世界における基本的信頼感」と「感性」を支える沖縄の文化的風土について考察した。師を乗り越えていく葛藤よりも、母系的宗教と自然に融合した長い伝統に支えられた継承の特質が見出された。

#### <研究Ⅱ-1> 心理臨床家の専門家アイデンティティの生成と継承Ⅰ

5名の心理臨床家に個別の半構造化面接を実施し、心理臨床家としての自立(上の世代からの専門家アイデンティティの継承)のプロセスと、次世代育成のプロセスの語りを分析した。わが国の師弟関係の特質として、長い期間を通じて師に同一化しつつ自らの独自性を育てていくという、母子関係を土台とした専門性の継承の特質が見出された。

#### <研究Ⅱ-2> 心理臨床家の専門家アイデンティティの生成と継承Ⅱ

我が国とアメリカ合衆国の心理臨床家の比較研究として、Austen Riggs Center (MA, USA)の心理臨床家(Ph. D.) 11名に個別の半構造化面接を行った。その結果、①中年期に至るまでの人生前半期を通じて精神分析家アイデンティティの達成と深化をめざして自己探求していくプロセス、②その達成には、スーパーヴィジョンのような上の世代との face to face の持続的な関係性が決定的に重要な意味を持っていること、③アメリカの専門家養成における師弟関係は、上の世代をライバルと見なし、自主独立を是とする父子関係が土台となっていることが示唆された。

なお、第3の専門職として予定した企業の技術者に対しては、フィールドワークと予備調査の段階であり、今後の継続課題とした。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下

線)

#### 【雑誌論文】(計10件)

1. 岡本祐子(2012). Austen Riggs Center の臨床活動と世代継承性. 広島大学心理学研究, **12**, 285-304. (無査読)
2. 神谷真由美・岡本祐子・上手由香・奥田紗史美・前盛ひとみ・深瀬裕子(2012). 心理臨床家のプロフェッションの生成と継承Ⅰ—理想の心理臨床家の追及—広島大学心理学研究, **12**, 103-116. (無査読)
3. 深瀬裕子・岡本祐子・上手由香・奥田紗史美・前盛ひとみ・神谷真由美(2012). 心理臨床家のプロフェッションの生成と継承Ⅱ—唯一無二の人生・体験への尊び—広島大学心理学研究, **12**, 117-126. (無査読)
4. 岡本祐子(2011). 陶器職人における専門家アイデンティティの生成と継承Ⅱ—島袋常秀工房の師弟関係から見た世代継承性のミクロな分析— 広島大学心理学研究, **11**, 173-187. (無査読)
5. Okamoto, Y.(2011). Achievement and succession of professional identity in potters I : An analysis and some considerations of Prof. Tsunehide Shimabukuro's life and professional works. Hiroshima Psychological Research, **11**, 137-156. (none refereed)
6. Okamoto, Y.(2011). Achievement and succession of professional identity in potters: A micro-analysis of generativity through examination of the master-student relationship at Tsunehide Shimabukuro Studio. Hiroshima Psychological Research, **11**, 157-171. (none refereed)
7. 岡本祐子(2010). 陶器職人における専門家アイデンティティの生成と継承Ⅰ—島袋常秀氏の人と仕事をめぐって— 広島大学心理学研究, **10**, 121-135. (無査読)
8. 前盛ひとみ・岡本祐子・上手由香・奥田紗史美・深瀬裕子・神谷真由美(2013). 心理臨床家のプロフェッションの生成と継承Ⅲ—自己への直面化、そして言葉にすること— 香川大学教育学部研究報告 第Ⅰ部, **140**, (印刷中). (無査読)
9. 奥田紗史美・岡本祐子・上手由香・前盛ひとみ・深瀬裕子・神谷真由美(2013). 心理臨床家のプロフェッションの生成と継承Ⅳ—活力と信じることをめぐって— 香川大学教育学部研究報告 第Ⅰ部, **140**, (印刷中). (無査読)
10. 上手由香・岡本祐子・奥田紗史美・前盛ひと

み・深瀬裕子・神谷真由美(2013). 心理臨床家のプロフェッションの生成と継承Ⅴ—専門性のなかに個人的資質がいきること—香川大学教育学部研究報告 第Ⅰ部, 140, (印刷中). (無査読)

#### [学会発表] (計 6 件)

1. 岡本祐子・坂本清治・やまだようこ・森岡正芳 (2012) 沖縄に学ぶ世代継承性とライフサイクル—沖縄の伝統文化を次世代教育にどう生かすか— 日本教育心理学会第 54 回総会準備委員会企画シンポジウム. (沖縄: 琉球大学) 2012. 11. 24.
2. Okamoto, Y.(2012). Achievement and succession of professional identity: The cases of ceramic artist and psychotherapist. Austen Riggs Seminar: Adult identity from the viewpoints developmental and clinical psychology, #3. (Stockbridge, USA) 2012.9.18.
3. 上手由香・吉村夕里・鮫島輝美・古賀松香・前盛ひとみ・竹内一真(2012) 専門職種におけるプロフェッションの生成と継承—対人ケア職における実践知の継承— 日本質的心理学会第 9 回大会委員会企画シンポジウム. (東京: 東京都立大学) 2012. 9. 2.
4. 平石賢二・主藤久枝・岡野雅子・岡本祐子・金田利子 (2012). 生涯発達における異世代関係の意義. 日本発達心理学会第 23 回大会委員会企画シンポジウム. (名古屋: 名古屋国際会議場) 2012. 3. 10.
5. 岡本祐子 (2011). 師弟関係を通じた Profession の生成と継承—Generativity(世代継承性)のマクロとミクロな視点. 日本質的心理学会第 8 回大会 大会企画講演. (広島: 安田女子大学) 2011. 11. 26.
6. 岡本祐子 (2011). 職人の Professional Work を支える「神話」の風土—沖縄のものづくりの精神的基盤— 第 3 回国際ミソドラマ・コンgres シンポジウム “Myth behind Technology” (東京: 東京国際フォーラム) 2011.11.6.

#### [図書] (計 1 件)

1. 岡本祐子(編著) (2013). プロフェッションの生成と世代継承—ケーススタディ: 中年期の実りと次世代の育成— ナカニシヤ出版 (印刷中).

[その他]  
ホームページ等

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

岡本 祐子 (OKAMOTO YUKO)  
広島大学・大学院教育学研究科・教授  
研究者番号: 90213991

##### (2) 研究分担者

( )

研究者番号:

##### (3) 連携研究者

( )

研究者番号:

##### (4) 研究協力者

島袋 常秀 (SHIMABUKURO TSUNEHIDE)  
沖縄県立芸術大学・美術工芸大学・教授

上手 由香 (KAMITE YUKA)  
安田女子大学・文学部・講師

奥田紗史美 (OKUDA SATOMI)  
大阪教育大学・学生サービス課カウンセリ  
ングルーム・特命職員

前盛ひとみ (MAEMORI HITOMI)  
香川大学・教育学部・講師

深瀬裕子 (FUKASE YUKO)  
広島大学・大学院教育学研究科・助教

神谷真由美 (KOYA MAYUMI)  
広島大学・大学院教育学研究科・博士課程後  
期在学